

# 令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

佐賀県

学校名

佐賀市立大和中学校

人権課題

子供

対象学年・  
取り扱った教科等

第 2 学年・道徳

目標・人権教育のねらい

・「いじめはしてはいけない」「いじめは許されない」「いじめをなくしていきたい」という思いがある生徒は非常に多い。ほとんどの生徒は、「自分はいじめをしていない」と思っているが、「本当に自分はいじめをしていないだろうか」と振り返る生徒は非常に少ない。「自分の無意識の行動や言動が、もしかしたらいじめにつながっているかもしれない」ということに気づかせる。

実施した内容

- ・新型コロナウイルスをテーマにした道徳教材の作成及び実践。
- ・現代に残る部落差別の学習について、学んだことを自分事として考えさせる。

工夫した点

- ・新型コロナウイルスをテーマにした教材を作成するに当たって、「差別はよくない」ではなく「自分も差別をしているのではないか」ということに生徒が気づきやすくなるように文章を作成する。
- ・「差別をしているのは誰か」という発問に対して生徒が「私」と回答したときに、返しの発問をして「私」が「生徒自身」にもつながっていけるようにする。

他教科との  
関連

- ・この学習を終えた後、社会科（歴史）「身分制社会の暮らし」の学習をして「差別」が起こった背景について考えさせる。

# 令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

佐賀県

学校名

佐賀市立大和中学校

人権課題

女性

対象学年・  
取り扱った教科等

3 学年・家庭科分野

目標・人権教育のねらい

- ・身近な人権問題について考え、日常生活に存在する差別、偏見、不合理について知る。また、差別は誰も幸せにしないことに気づかせる。
- ・自分自身にある差別心に気づかせることで、差別を許さない意思や態度を育てる。
- ・家庭や職場における男女差別を考え、相互の立場を尊重して協力し合えるように関心をもたせる。

実施した内容

- ・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考える。
- ・家族の互いの立場や役割を理解し、協力して家族関係をよりよくすることが大切であることに気づく。
- ・子供が育つ環境としての家族の役割について理解する。

工夫した点

- ・生徒に関わる深い課題を身近なことから取り上げ、ロールプレイングなどを通して、具体的に考えさせる。
- ・家族関係をよりよくするためにどのような方法があるか、どのようなことができるのか、具体的に考えて、意見交換させ、実践に向ける。

他教科との  
関連

社会科にて、基本的人権、雇用として学習した。

# 令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

佐賀県

学校名

佐賀市立大和中学校

人権課題

障がい者

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・身近な人権問題について考え、日常生活に存在する差別、偏見、不合理について知る。また、差別は誰も幸せにしないことに気づかせる。
- ・自分自身にある差別心に気づかせることで、差別を許さない意思や態度を育てる。
- ・多様な人たちが連携し、支え合う共生社会を実現するために関心と理解を深めさせる。

実施した内容

- ・人権週間での取り組み
- ・人権作文朗読。
- ・印象に残った部分など、メモをとり、感想記入を行い、意見交換を行う。  
「絆」（『障がい』に関することについて）

工夫した点

- ・人権週間を設定して、人権課題に関する資料を提案する
- ・人権作文コンクールの入賞作品の朗読（電子黒板による動画）を視聴する。
- ・学級活動などで、意見をスピーチする。

他教科との  
関連

社会科にて、基本的人権として学習した。

# 令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

佐賀県

学校名

佐賀市立大和中学校

人権課題

同和問題

対象学年・  
取り扱った教科等

中学 2 年生・道徳

目標・人権教育のねらい

- ・身近な人権問題について考え、日常生活に存在する差別、偏見、不合理について知る。また、差別は誰も幸せにしないことに気づかせる。
- ・現在も部落差別が身近にあることを感じさせることや、差別とたたかう人たちの生き方について考えさせる。

実施した内容

- ・「佐賀県版人権教育DVD」を使用して講演形式で授業を行った。差別とたたかっている当事者の声を直接聞く機会がない子どもたちでも、県内の当事者の思いを知ることができる教材である。このDVDに収録されている、部落差別をテーマとした教材「部落差別って何？」を使用した。

工夫した点

- ・「身分制社会での暮らし」の学習について復習をおこなった。その中で、当時差別を受けていた身分の人たちの呼称であった賤称語を子どもたちに教えた。子どもたちに対しては、社会科での学習と、賤称語のであいとの間隔を空けることで、「差別された人」というイメージと被差別身分（賤称語）を関連づけて覚えさせないようにした。

他教科との  
関連

社会科にて、身分制社会での暮らしとの関連

# 令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

佐賀県

学校名

佐賀市立大和中学校

人権課題

外国人

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・身近な人権問題について考え、日常生活に存在する差別、偏見、不合理について知る。また、差別は誰も幸せにしないことに気づかせる。
- ・自分を大切にし、相手を思いやり、お互いを認め合い高めようとする集団づくりに必要なことは何かを考えさせる。
- ・文化などの多様性を認め、生活習慣等の違いを正しく理解し、尊重していく態度を育てる。

実施した内容

- ・人権週間での取り組み
- ・人権作文朗読。
- ・印象に残った部分など、メモをとり、感想記入を行い、意見交換を行う。「本当の国際化とは」（外国にルーツがある人への偏見や差別について）

工夫した点

- ・人権週間を設定して、人権課題に関する資料を提案する
- ・人権作文コンクールの入賞作品の朗読（電子黒板による動画）を視聴する。
- ・学級活動などで、意見をスピーチする。

他教科との  
関連

社会科にて、基本的人権として学習した。

# 令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

佐賀県

学校名

佐賀市立大和中学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・  
取り扱った教科等

中学 2 年生・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・身近な人権問題について考え、日常生活に存在する差別、偏見、不合理について知る。また、差別は誰も幸せにしないことに気づかせる。
- ・SNSを正しく使用しないと危険な目にあったり、投稿した写真や動画が将来にわたって影響を及ぼすことを理解する。
- ・人権に配慮した使い方（情報モラル）を身につける。

実施した内容

- ・スマホは情報モラルが大切  
～もう一度よく考えよう！写真や動画の投稿～
- ・視聴して意見交換を行う。

工夫した点

- ・これまでのトラブルや講話等も振り返らせ、学習を身近なものとして考えさせた。
- ・話し合いの際に、個人情報の取扱いに注意して、個人情報の流出や投稿の炎上など、具体的な操作や投稿を題材に考えさせる。
- ・人権に配慮した情報モラルの観点を示して、今後SNSの使い方について話し合いを進めさせる。

他教科との  
関連

技術・家庭科の技術分野にて情報モラルについて学習した。

# 令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・  
指定都市名

佐賀県

学校名

佐賀市立大和中学校

人権課題

性的指向、性自認

対象学年・  
取り扱った教科等

全学年・学級活動

目標・人権教育のねらい

- ・身近な人権問題について考え、日常生活に存在する差別、偏見、不合理について知る。また、差別は誰も幸せにしないことに気づかせる。
- ・自分自身にある差別心に気づかせることで、差別を許さない意思や態度を育てる。性的指向や性自認に関する偏見からの人権問題について関心と理解を深める。

実施した内容

- ・人権週間での取り組み
  - ・人権作文朗読。
  - ・印象に残った部分など、メモをとり、感想記入を行い、意見交換を行う。
- 「自分の種類とその性別」 小川一花      内容：L G B T s

工夫した点

- ・人権週間を設定して、人権課題に関する資料を提案する
- ・人権作文コンクールの入賞作品の朗読（電子黒板による動画）を視聴する。
- ・学級活動などで、意見をスピーチする。
- ・制服の変更に伴う説明の際にも、集会での話を交えた。

他教科との  
関連

社会科にて、基本的人権として学習した。